



みす和夫通信

平成31年新年号 Vol.35

平成30年12月
第4回定例会にて



発行 千葉市議会議員 みす和夫事務所
千葉市緑区誉田町2-21-1189 ☎291-1086

ホームページもご覧下さい。 [みす和夫](#) 検索 メール misu@misukazuo.jp

今年の抱負

あけましておめでとうございます。

昨年7月31日、三須和夫をはじめ自民党千葉市議団は、市長に対し、小中学校の全教室にエアコンを早急に設置するよう要望書を提出。市長からは「状況は熟知しており、本年度から3か年計画で千葉市内の小中学校の全教室にエアコンを設置する意向」との回答を得、間もなく着手となります。昨今の猛暑は、児童・生徒の生命に危険を及ぼす災害級との認識の中、一日も早いエアコン整備完了を目指し

ていただきたいと思います。

また、緑区においては、誉田駅南側駅広場の早期完成、千葉市の有害鳥獣被害の対策、農業への取り組み、ネクストコア千葉誉田の操業に伴う道路渋滞の対策など、引き続き、様々な緑区の諸問題に取り組んでまいります。

三須和夫は、千葉市緑区にお住いの皆様のご困りごとを、一つひとつ真摯に受け止め、寄り添い、解決し、さらに住みよい環境にするために頑張ります!本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

千葉市議会議員 三須 和夫



01 誉田駅南側駅広場完成時期について



JR外房線誉田駅の北側には従来、改札口がありませんでしたが、平成20年に南北自由通路や北口駅前広場などの整備が完成し、交通結節点としての機能が格段と向上しました。

一方、元々改札口があった南側駅前広場は規模が狭小であり、バスなどの公共交通機関や一般車によって車両が輻輳(ふくそう)しているため、いつ事故が起きるか心配です。

このような状況の南側駅前広場については、大綱街道を挟んだ土気側に新たにバスロータリーを配置する計画で、バス利用者は駅2階の改札口からペDESTリアンデッキにより大綱街道を横断せずに駅前広場へ行けるようになり、利用者にとっては安全性が高まり、利用しやすくなると伺っております。

その誉田駅南側駅前広場の用地取得は、平成28年度に着手され、移転のための家屋解体が進められ、最近では空き地が目立つようになり事業が進んできたことを感じます。駅前広場の用地取得が完了し、南側の駅前広場が着工、整備されれば、安全性が高まるとともに、交通結節点としての機能が強化されることから、南側の駅前広場の整備は地元の悲願です。

誉田駅南側駅広場の用地取得状況と完成時期について、お伺いします。

◎誉田駅南側駅広場の用地取得状況と完成時期について

〔答弁〕建設局道路部街路建設課

用地取得状況ですが、約2,060㎡うち52%にあたる約1,070㎡を取得しています(昨年11月末契約まで有効)。完成の時期については駅前商店などを営む方々が駅近くでの再建を希望されていることから、現在その代替地の確保に苦慮しており、現時点で完成時期をお示しすることはできません。しかし、駅前広場は交通の結節点としての役割を担う重要な施設であり、早期に整備する必要があると認識しており、本市が所有する代替地の活用や代替地

となり得る土地所有者との調整を図ることなどにより用地取得に努め、早期の完成を目指して参ります。



誉田駅南口広場 完成予想図

強く要望いたしました



誉田駅南側駅広場の整備は誉田のまちづくりに大きな要素です。駅広場の完成時期について、現在は示すことができないとの答弁でしたが、駅前の空き地が長年放置されることは、まちに活気がなくなり、まちづくりも遅れてしまうため、短期間に集中して整備することが重要であり、あと5年以内には完成させるべきであると考えています。

まず、予算については、集中的に配分するなどして確保していただき、残る用地取得は、代替地を確保するなど円滑に進められるよう、今以上に力を入れていただき、駅前広場が早期に完成することを要望いたしました。

での答弁では、市が早急に建設することは難しいとのことでしたが、公共施設の建設にはPFIなど様々な手法があり、何らかの手立てはあるのではないかと考えます。

例えば、地区ホールとしての利用が可能な民間施設があった場合、市として当該施設を地区ホールとして運用していくようなことは考えられるのかについて、お伺いします。

◎緑区地区ホールについて

〔答弁〕市民局生活文化スポーツ部文化振興課

既存の地区ホールに準ずるような機能を有していることや、施設所有者との借上げ条件等を踏まえて、検討することは可能であると考えています。

02 緑区地区ホールについて



昨年、第2回定例会においても、緑区の地区ホール建設について質問をさせていただきましたが、その答弁では、平成28年の「千葉市文化施設の再構築に関する基礎調査」の地区ホール需要分析において、「身近な地域に発表する場所が無い」ことを課題に挙げた文化団体が最も多い区が緑区であったことをお示しいただき、地区ホールは地域における文化活動の拠点として、文化振興の重要な役割をはたしていることは認識しているが、未整備地区のホール建設については、公民館やコミュニティセンターなどの既存施設の利用状況、老朽化が進む市民会館の建て替えによる文化施設の機能の考え方、本市の財政状況等を総合的に勘案し、検討を進めるとのことでした。

そのような中、緑区の文化団体がよく利用している若葉区の地区ホールや中央区の文化センターについては、「身近な人に観に来てもらいたい」「予約が取りづらい」などといった団体の声もあり、地元の方々には、地区ホールの建設を強く望んでいます。

地区ホールの建設は、地域住民にとって、文化の振興はもとより、その集客機能においても、緑区にとって大変重要な施設であると考えております。今ま



03 千葉市の有害鳥獣について



全国的にイノシシ等の有害鳥獣による被害は深刻さを増し、地域社会に大きな影響を与えており、農業への被害をはじめ、最近では市街地にも出没し住民の生活を脅かすようになってきました。

これ以上の農業被害と生息分布を拡大させないためにも、様々な対策が必要ですが、農業や捕獲従事者による個々の取り組みだけでなく、地域ぐるみで取り組むことが重要です。地元の猟友会の方の話では、イノシシは成獣で80kg以上、埋める場所まで運ぶのも一苦労な上、穴を掘ったり埋める場所を探すのも大変で、その対応に苦慮しているとのことでした。

猟友会員の高齢化が進む中、例えば減容化(げんようか)など処理作業の支援ができないものか。また、市当局の有害鳥獣対策の窓口を一本化し、体制強化も必要になってくると考えております。

◎地域ぐるみで取り組む体制をさらに増やしていく必要性について

〈答弁〉経済農政局農政部農業生産振興課

地域で有害鳥獣から集落を守る意識が高まっております。加えて、本年10月から12月には地域主体で耕作放棄地の仮払いを実施し、イノシシの住処の撲滅を目指すなど、対策を普及拡大していくことが重要と考えております。

◎捕獲後の埋設処分に係る作業支援の必要性について

〈答弁〉環境局環境保全部環境保全課

大型獣であるイノシシは埋設となりますが、捕獲従事者の負担が大きいと認識し、焼却処理の可能性についても他市先行事例を参考に研究して参ります。

◎総合的な有害鳥獣対策部門の設置について

〈答弁〉環境局環境保全部環境保全課

農政部門と環境保全部門の両部門が連携し、必要に応じて、警察その他関係部署とも協力して、さらなる効果的な体制づくりの検討を進めて参ります。

強く要望いたしました



有害鳥獣による被害は、本市においても大きな問題です。特にイノシシは、27年度以降、年々、捕獲数が増加するとともに、目撃情報も増え、生息域が広がっていると聞いております。平成29年には約2万頭が捕獲されております。極めて繁殖力が高い動物であり、10年間で約100倍になると言われています。例えば、今、10頭のイノシシを捕獲したとすれば、10年後に1,000頭捕獲するのと同じ効果があるということです。地域で取り組みを始めた事例や成果を市内各地域に広め、地域ぐるみの取り組みをさらに推進していくよう強く要望いたしました。



04 千葉市の農業について



高齢化や担い手不足で大変苦しい状況にある農業ですが、さらに有害鳥獣の被害と、農家の皆さんの営農意欲は減退していくばかりです。昨年12月30日からはTPPの発効など農業を取り巻く環境がますます厳しさを増す中、国においても「稼ぐ農業」「儲かる農業」というキャッチフレーズを掲げ様々な施策を出しています。

◎「稼ぐ農業」とは?これまでの市の取り組み、課題、今後の取り組みは?

〈答弁〉経済農政局農政部農政課

国は、平成28年11月に農業競争力プログラムを取りまとめるなど、農業の産業化を後押しし、「稼ぐための農業」の環境を整えてきています。肥料、農薬などの生産資材価格の引き下げ、戦略的輸出体制の整備、収入保険制度の導入などに取り組み、さらなる農業の競争力強化の実現を図っています。

本市のこれまでの取り組みと課題については、高収益な作物への転換や農

業生産の効率化、生産性の高い農業経営体の育成や意欲ある担い手への支援、法人などの農業参入促進、今後は、意欲ある担い手の育成支援を進めICT化などの新技術の活用による農作業の効率化や、販路拡大とブランド化による事業など高収益化を図って参ります。また、高齢化や担い手不足で不安を抱える既存農家へ必要な支援について検討して参ります。

強く要望いたしました



ICTなどによる効率化や販路拡大による高収益化を図っていくことは、大変重要であり、国による施策も進んで参りますが、本市としても、独自の施策に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

実際の農業の現場では、高齢化や担い手不足の状況は待たなしです。足元の部分をしっかりさせて、本市の農業がさらに成長していくことを期待して、私からの要望としました。



05 緑区の諸問題について



(1) 誉田駅北側都市計画の見直しについて

現在、駅前スーパーができて便利にはなりましたが、他に飲食店などもなく、駅前の好立地が活かせておらず、もったいない状況です。また、緑区には文化活動の場が不足しており、地元には強い期待もあります。用途地域の変更を検討するにあたり、このような地域の思いや意見を考慮してしっかりと見極めを行ってほしいと思っております。

◎どのように検討を進めるのか?地域住民の意見をどう反映するのか?

〈答弁〉都市局都市部都市計画課

駅前広場周辺における賑わいや周辺道路の沿道における利便性の向上が図れるよう用途地域の変更について検討を進めており、本年10月にいただいた要望書を十分に踏まえ、見直し素案を示しながら具体的な検討を進めて参ります。

強く要望いたしました



用途地域が簡単に変更できるものではないことは十分に承知しておりますが、住宅団地や工業団地ができ、街が生まれ変わりますので、早く変更を実現していただくことが地元住民の願いであることを申し上げました。

(2) 誉田工業団地を取り囲む道路の渋滞について

明治大学誉田農場跡地において、ネクストコア千葉誉田として、産業用地の整備が進められておりますが、今年末には造成工事が完了、数年のうちには複数の企業が操業開始することが見込まれています。地域住民の生活環境への悪影響、特に懸念しているのが周辺交通の渋滞、混雑です。

◎ネクストコア千葉誉田への企業の立地に伴う、渋滞対策は?

〈答弁〉建設局道路部道路計画課

企業が立地する際には、交通負荷配慮事項などの確認を行い選定していくこととしており、相当数の業務用車両の発生が見込まれる複数テナントの入居を想定した物流施設などは誘致しない方針です。さらに工業団地組合を組織し、操業開始後も、双方が話し合うことができる環境を整えて参ります。

強く要望いたしました



誉田駅の北側は、大型宅地分譲に加え、今回の産業用地の整備により、まちが大きく変わろうとしています。それらに伴う地元住民の皆様の生活環境の変化に関する不安な点など、立地企業に対しての働きかけはもちろん、立地企業にとっても快適な操業ができるよう、周辺道路の渋滞緩和に向け、周辺の道路環境をしっかりと検証し、地域発展に必要なインフラの早期整備を検討いただけるよう強く要望いたしました。



06 千葉市の有害使用済機器を含む金属スクラップの保管について



強く要望いたしました



有害使用済機器の保管場所としての届け出は10月までに市内6件ですが、有害使用済機器を取り扱ってはいないが他にも多数のスクラップ堆積場があります。これらは、届け出の対象にはなりませんが、そこから発生する騒音、振動・粉じん、また先般の火災のようなリスクや、現在ある保管場所がそのまま山になる懸念もあります。

市内の堆積場の稼働状況を監視し、近隣住民の生活環境が守られるようきちんと対応するよう要望いたしました。

みす和夫プロフィール

●千葉市議会議員6期目

保健消防委員会 委員長、大都市制度・新庁舎整備調査特別委員会委員、社会福祉審議会委員、保健所運営協議会委員、自由民主党千葉市議会議員団(所属党派)、千葉市議会日中友好議員連盟会長

●これまでの主な役職

第67代千葉市議会議員、千葉市監査委員、千葉市農業委員、千葉市廃棄物減量等推進審議会会長(2期)、市議会教育未来委員長(2期)、経済教育委員会委員長

●資格・仕事など

一級建築士、宅地建物取引士、建設会社役員、社会福祉法人評議員



傍聴に80名の皆様に参加されました。



千葉市議会を傍聴しませんか。